



プレイ人数：3～5人 / 対象年齢：8歳以上 / プレイ時間：30～45分

歴史を通じて、美しい宝石は王侯・職人、そして恋人達にとってかけがえのない持ち物でした。今も昔も、最高の宝石を自身の財産に加えるべく、裕福な依頼者達は宝石商人に世界中を探させます。

ペルーはサン・イシドロにあるクラブ・ホテルのバックルームで、あなたは他の組織に属するライバルの宝石商人と対峙しています。狡猾な戦術と少々のはったりを用いて、クライアントのコレクションを完成させ、そしておそらくあなたの懐を暖めるであろう宝石を競り落とすのです。

内容物

- ビッドカード 96枚
一赤（ルビー）、青（サファイア）、紫（アメジスト）、緑（エメラルド）、透明（ダイヤモンド）、5色各18枚と、ワイルド（虹色）6枚。5色には[2][3][4][5][7]の値がある。ワイルドは[7][10]各3枚。ビッド（値付

け）に使用する。

- スコアカード 25枚
一赤（ルビー）、青（サファイア）、紫（アメジスト）、緑（エメラルド）、透明（ダイヤモンド）、5色各5枚。ビッドカードと異なり白枠が無い。プレイヤーが競りで争う宝石を表す。

遊び方

全てのビッドカード（以下カード）をシャッフルし、以下の通り配置します。ランダムに「スタートプレイヤー」を決定し、そのプレイヤーに4枚を配ります。他のプレイヤーには5枚ずつ配ります。残りのカードは中央に伏せて山札とし、そのそばを捨て札置き場とします。スコアカードは近くに置きます。

スタートプレイヤーは、最初の競りにかける宝石の色を1色宣言し、ゲームを開始します。続いて、宣言した色のカード1枚以上を手札から自分の前に出

し、示します。全てのカードの値が見えるようにしますが、場所の節約の為部分的に重ねて構いません。出したカードの合計の値を、最初の値付けとして宣言します。手番の終わりに、スタートプレイヤーは山札からカードを1枚引き、手札に加えます。

手番は時計回りに進行し、1人を除く全員がパスするまで（大抵は複数周にわたって）続きます。

以降のプレイヤーは競りに残るか、それともパスするかを決めます。競りに残る為には、カードを自分の前に出し（2周目以降ではカードを加え）、自分の競り値（自分の前に並べている全てのカードの合計値）を宣言せねばなりません。競り値は直前に出されている競り値を超えねばなりません。カードを出したら、出した枚数に関らず、山札から1枚引きます。

対応する色のカードを、前のプレイヤーの競り値を超えられるだけ持ってい

ないプレイヤーは、パスしなければなりません。戦術的理由で、特に今後行われる競りに向けてカードを温存する為にパスを選択することもできます。パスを宣言し、山札から1枚引き、（もしあれば）自身の前に出していたカードを全て捨て札にします。現在の競りに再び参加することはできず、これ以上カードを引くこともできません。新たな競りが始まったら、再びゲームに参加することができます。

1人を除いて全員がパスしたら、競りの勝者が決まります。最高値をつけたプレイヤー（最後に競り値をつけたプレイヤー）が勝者です。

競りが終了したら、勝者は出したカードを全て捨て札にします。山札からはカードを引けません。その代わりに、競られていた色のスコアカードを1枚獲得し、自分の前に表示します。各プレイヤーが保持できるスコアカードは、各色1枚だけです。同じ色の競りで勝利しても、スコアカードを追加で得ることはできません。

競りの勝者が次の競りを始めます。次に競る宝石の色を決定し、その色のカー

ド1枚以上を自身の前に出します。既に持っている色を宣言しても構いませんが、同色のスコアカードは複数保持できないことを確認してください。

山札が無くなったら、捨て札をシャッフルして新たな山札を作ります。

ワイルド（虹色）カード

ワイルドカードはどの色のカードとしても競りに使用できます。ただし、最初の値付けに使用してはいけません。

ワイルドカードには[7]と[10]の値があり、カードに記載されています。

ワイルドカード[7]

全ての競りに対して好きな枚数を使用できます。

ワイルドカード[10]

[7]と同様ですが、以下2つの例外があります。

- 1回の競りに対して、各プレイヤーにつき1枚までしか使用できません。
- [10]のカードを使ったにも関わらず競りに勝てなかった場合、自身が持っているスコアカードから1枚選んで返却せねばなりません。スコアカードを持っていない場合、何も返却する必要はありません。

伏せ出し

各プレイヤーは1回の競りに対して1手番だけ、好きな枚数のカードを伏せた状態で出せます。競られている色のカードでなくても構いません。伏せカードだけで出しても、対応する色のカードやワイルドカードと一緒に出しても構いません。

これらのカードの値はそれぞれ[1]と見なされ、競り値に加算されます。伏せカードを出した後の手番も競りを続けられますが、その際に出すカードは対応する色のカードかワイルドカードでなければなりません。

ゲームの終了

スコアカードを4色集めたプレイヤーが即座にゲームの勝者となります。より難度の高いゲームとして、5色全てを集めたプレイヤーを勝者としても良いでしょう。



販売元
合同会社ニューゲームズオーダー
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-17-1 TMビル2F
<http://www.newgamesorder.com/>